

広島空港特定運営事業等 2026年度事業計画



広島国際空港株式会社

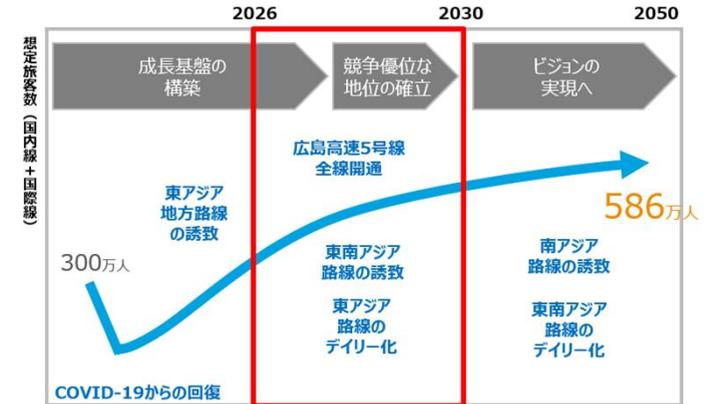
2026年度方針

事業期間終了時
に向けたビジョン

中四国の持続的成長を牽引し続ける圧倒的No.1ゲートウェイ
広島空港を「あらゆる旅行者に最も選ばれる玄関口」へ、
中四国を「世界に選ばれる目的地」へ

中期計画
(-2030年度)

- ✓ ターミナルビル増築・改修工事による成長基盤の構築を実施
- ✓ 東アジア・東南アジア路線の拡充・デイリー化などを軸に、競争優位な地位の確立を目指す



2026年度方針

- ・ 国内線(羽田・成田)および東アジア主要ハブ空港を中心とした便数拡大・大型化の推進
- ・ 山陰・瀬戸内エリアとの協働による域内周遊型プロモーションの強化
- ・ アクセス情報表示システムの改修とレンタカー利用促進による空港アクセスの利便性向上
- ・ ターミナルビル増築・改修工事による商業エリア刷新と施設機能の向上
- ・ 実践的訓練の継続と人材確保支援等による空港運営の持続可能性の確保

■ 旅客数・貨物量目標

		2026年度
旅客数 (千人)	国内線	2,546
	国際線	573
貨物量(千t)		13

■ 投資計画

		2026年度	投資内容	(億円)
運営権設定施設		6	エプロン拡張工事、灯火ケーブル更新等	
非運営権設定施設		119	旅客ターミナルビル改修・増築工事等	
投資合計		125		

主な取組み

航空 ネットワークの拡充

- 国内線(とくに羽田・成田路線)について地元、航空会社との連携による便数拡大・機材大型化の推進
- 国際線について東アジア・東南アジア主要ハブ空港へのデイリー／ダブルデイリー化の実現
- 観光振興を目的とした県との連携強化による新規路線誘致・維持支援策等の整備
- 自治体連携による貨物需要拡大と安定的な保税倉庫運営体制の確立

旅客需要の 創造

- 航空ネットワーク計画とリンクさせながら、地元自治体・各種諸団体等との連携施策を拡大
- 広域FAMトリップ・他空港連携等、域内周遊を意識したプロモーションを強化

2次交通 ネットワークの構築

- 東部方面を中心としたバス路線の利便性確保に向けた施策の強化
- アクセス情報表示システムの改修による旅客利便性の向上
- 既存高速バス路線の空港経由化によるアクセス拡充
- 訪日客向けレンタカー利用の更なる促進
- レンタカー利用拡大による広域周遊観光の定着化

空港施設等の 運用

- 旅客ターミナルビル増築・改修工事の進捗管理による確実な供用開始
(国内線・国際線到着ロビー一体化、国際線新出国検査場整備など)
- 商業エリアの刷新(フードコート新設・動線最適化・ウォークスルー型免税店整備)
- 安全・安心を最優先に利用者への影響を極力抑えた工事の推進
- 空港刷新に向けた取り組みを広く効果的に伝える情報発信
- ビジネスジェット利用者専用施設の整備と活用

安全安心な 空港運営

- 実践的な訓練の継続実施と顔の見える関係づくりによる緊急時対応力の強化
- 国際線旅客の増加に伴う緊急対応体制の強化
- 空港事業者の採用をサポートする活動の継続・強化及び職場環境の改善
- 空港周辺エリア施設間の連携によるにぎわい創出

旅客ターミナルビル増築・改修計画



2階メインエントランス



2階飲食店エリア

*イメージ